

再 評 価 書

箇所名	主要地方道 北勢多度線 (阿下喜)	事業名	道路事業	課名	道路建設課 (桑名建設事務所)
事業概要	工 期 (下段当初)	H28年～H32年	全体事業費 (下段当初)	700百万円(負担率:国5.5、県4.5)	
		年～年		百万円(負担率:国:県:他)	
事業目的及び内容					
<p>○当該路線の概要</p> <p>主要地方道北勢多度線は、いなべ市北勢町阿下喜の国道306号を起点とし、桑名市多度町北猪飼に至る延長約14kmの県道です。</p> <p>当該地域には、東海環状自動車道の整備が進められており、平成30年度には東員IC～(仮称)大安IC間、平成36年度には(仮称)大安IC～(仮称)北勢IC間が開通予定となっております。更なる交通量の増加が見込まれています。</p> <p>当該路線は国道306号との接続点である鎌田交差点を起点に交通渋滞が発生しており、交差角が鋭角な変則交差点のため交通事故が多発しています。今後(仮称)北勢ICが接続されると、交通量の増加が見込まれ、交通渋滞の悪化や交通事故の増加が懸念されます。</p> <p>また、(仮称)北勢IC周辺には防災拠点やいなべ市新庁舎の建設が進んでおり、有事の際にはこれら拠点への円滑なアクセス確保が重要になります。</p> <p>北勢多度線の4車線化整備により、(仮称)北勢IC開通に伴う、交通量の増加への対応や(仮称)北勢ICといいなべ市防災拠点を直結する道路として災害時のネットワーク強化が期待されます。</p> <p>○事業目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通渋滞の緩和 ・災害時のネットワーク強化 <p>○事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業期間 : 5年間(平成28年度～平成32年度) ・全体事業費 : 700百万円(工事費:647百万円、用地補償費:53百万円) ・計画延長 : 440m ・幅員 : 13.0(26.0)m 					
事業主体の再評価結果					
<p>1 再評価を行った理由</p> <p>社会経済情勢の急激な変化などにより、再評価を実施する必要性が生じたため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条の4に基づき、再評価を実施しました。</p>					
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み</p> <p>2-1 事業の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度末の事業進捗率は約46%(工事が42%、用地取得が94%)となっています。 ・鎌田交差点の改良工事を実施し、平成30年6月に暫定2車線で供用開始しました。 <p>2-2 今後の見込み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成32年度の全線供用に向け、事業を推進します。 					
<p>3 事業を巡る社会経済情勢等の変化</p> <p>東海環状自動車道が平成29年度に新四日市JCT～東員IC間が開通し、平成30年度に東員IC～(仮称)大安IC間、平成36年度に(仮称)大安IC～(仮称)北勢IC間が開通予定となっております。また、平成30年度には新名神高速道路の新四日市JCT～(仮称)亀山西JCT間が開通する予定であり、高速道路のネットワークが充実します。さらに、いなべ市では近年企業の新規進出や事業拡張が進んでいます。そのため、高規格幹線道路ICへのアクセスの強化となる本事業の必要性は一層高まっており、当該事業の必要性に変化はありません。</p>					

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

①前回評価時の費用対効果分析の結果

【事前評価時】(H29年時)	
総費用(C)	6.9億円
総便益(B)	23億円
費用便益比(B/C)	= 3.3

②費用対効果分析の結果

費用便益比(B/C)	総費用(C) (残事業) / (事業全体)	総便益(B) (残事業) / (事業全体)
【事業全体】 4.5	2.2 / 6.7億円	30 / 30億円
【残事業】 13.5	事業費 : 2.1 / 6.5億円 維持管理費 : 0.2 / 0.2億円	走行時間短縮便益 : 29 / 29億円 走行経費減少便益 : 1.4 / 1.4億円 交通事故減少便益 : 0.1 / 0.1億円

③感度分析の結果

【事業全体】	【残事業】
交通量 : B/C = 3.7~5.6 (±10%)	交通量 : B/C = 11.0~16.8 (±10%)
事業費 : B/C = 4.4~4.7 (±10%)	事業費 : B/C = 12.4~14.9 (±10%)
事業期間 : B/C = 4.3~4.7 (±10%)	事業期間 : B/C = 13.0~13.7 (±10%)

※出典：費用便益分析マニュアル(平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)

4-2 その他の効果

○地域拠点へのアクセス強化

事業区間付近には、災害医療拠点である「いなべ総合病院」があり、また「緊急避難場所」「防災拠点」「いなべ市新庁舎」など地域拠点となる施設の整備が進んでいます。事業区間が整備されることで、これら拠点へのアクセスが向上します。

○災害時のネットワーク強化

いなべ市防災計画において、桑名地域防災総合事務所や陸上自衛隊久居駐屯地は当該地域の第1次防災拠点に定められています。災害時には、それら第1次防災拠点や各地域の庁舎などへのアクセスが必要であり、北勢多度線の整備により東海環状自動車道へのアクセスが向上し、防災時のネットワークが強化されます。

○地域産業の活性化

(仮称)北勢IC周辺には多くの企業が立地しています。北勢多度線の整備により、鎌田交差点を起点とする渋滞が解消することで(仮称)北勢ICへのアクセスが向上し、周辺に立地する企業の活動を支援します。

○安心・安全の確保

当該区間は阿下喜小学校の通学路となっており、整備後は歩道が広くなり児童が安全・安心に通学できるようになります。

また、鎌田交差点内では、平成25年度から今年度6月の暫定供用までに40件の事故が発生しており、交差点の改良により交通事故の減少が期待されます。

4-3 地元意向

平成30年8月に「三重県市長会」から提出された三重県への要望では、主要地方道北勢多度線の早期完成が強く要望されています。

5 コスト削減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト削減

- ・道路法面の一部に張コンクリートを行い、草刈に要する維持管理費を削減します。
- ・道路の盛土材については、他工事との調整を図り、購入土を用いず、他工事で発生する建設発生土を使用することで、コスト削減を図ります。

5-2 代替案

本事業は、交通量増加に対応するため、現道を4車線へ拡張するものであり、他に代替案はありません。

再 評 価 の 経 緯

再評価の経緯はありません。

事 業 主 体 の 対 応 方 針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条1項に該当すると判断されるため等事業を継続したいと考えています。